

はじめに

新たな環境保健行政推進の科学的・技術的拠点として岩手県環境保健研究センターが発足し、4年目を迎えております。

この間、衛生研究所、公害センター時代から引き継いだ試験検査・監視測定業務はもとより、県内外の大学、試験研究機関等との共同研究、環境保健に関する普及啓発など、各種事業に積極的に取り組んできた結果、環境保健研究センターでの新しい成果も具体的な形で見られるようになって参りました。

また、平成15年度は、県の新規政策であるゼロエミッション推進や食の安全安心プロジェクトに積極的に事業参加するとともに、懸案であったISO14001の認証取得も果たすことができました。

しかしながら、環境保健分野においては、SARS、鳥インフルエンザ等の新型感染症、健康危機管理、食の安全安心、青森県境産業廃棄物不法投棄事案、地球温暖化対策など、今後解決すべき技術的課題や研究テーマが山積しております。また、一方で行財政構造改革や試験研究機関の地方独立行政法人化問題など、県試験研究機関の組織・体制が新しい時代に向けてこのままで良いのか検討すべき時期にも来ております。

このような中で、我々は岩手県環境保健研究センターの設立の理念である「本県の環境保健に関する科学的、技術的拠点」として試験検査・調査研究業務等を通じ、県民の環境保健の維持・向上に何ができるかということを中心に問いかけ、将来を考えながら業務に努めることが大事であると考えております。

今般、平成15年度の当センターの業務概要と研究成果を取りまとめ、岩手県環境保健研究センター年報第3号として発行いたします。ご高覧のうえ、ご意見を賜れば幸いです。

平成16年12月

岩手県環境保健研究センター
所長 築田 幸